

平成 26 年度 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート Vol.2 平成 26 年 10 月 6 日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会事務局
 (基幹相談支援センター) TEL：078-918-5252



【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

「はたらけど、はたらけどわが暮らし楽にならざり、ぢっと手を見る。」
 働く事すら難くなってきた現代を石川啄木はいかに詠むのでしょうか？
 みなさま、はじめまして。しごと部会ワーキング5の「就労移行支援
 事業所ネットワーク会議ワーキングリーダー 鳥居健一」です。
 今回は、当ワーキングの活動を報告させていただきます。







■キーワードは、「共有」？！

障害者を取り巻く雇用の現状は、障害者自立支援法をきっかけに大きく変わり、企業の中でも障害者雇用についての話題が出る場面が多くなり、就労する障害者の数も年々増加しています。明石市でも障害福祉計画の中で障害者の就労について大きく位置づけられています。こういった背景もあり、地域の中でも様々な特色を持った就労移行支援事業所が出来ています（市内8ヶ所 10月6日現在）。

しかし、今までは個々をつなぐネットワークがなく、一事業所の狭義な視点からしか就労を捉えられない現状があり、以前から就労に特化したネットワークが欲しいという声があがっておりました。当ワーキングはそうした声を受けて立ち上がった、必然的なワーキンググループであると思っています。

就労を面で支えることで、明石市の障害者就労の選択肢が広がり、つながることで「職場実習先の共有」「求人情報の共有」「支援方法の共有」等が行えるようにと思っています。すでに、第1回、第2回会議が終了し、各事業所の取り組みをまとめた情報誌の作成や就労にまつわる学習会の開催等を行ってきました。ネットワークを通して取り組むべき課題も各事業所からたくさん出てきています。下半期は、「共有」を一つのキーワードにみなさんと取り組んでいきたいと思っています。

【これまでの活動と今後の予定】

<p>平成 26 年 8 月 7 日</p> 	<p>立ち上げ後初めての会議でした。明石市内、近郊の移行支援事業所が集まり、顔の見える関係とこれからの連携について話し合いました。支援者間で共有できる「事業所情報誌」を作成しました。</p>	
<p>平成 26 年 10 月 2 日</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク明石から、障害者就労の今日的課題についてお話していただきました。 ・就労系アセスメントの在り方について、障害福祉課の方にもご参加いただき、意見交換を行いました。 	
<p>平成 26 年 12 月 4 日 平成 27 年 2 月 5 日</p>	<p>障害者雇用に必要な就労アセスメントスキルについて検討します。</p>	